

《担当者名》巻 康弘 maki@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

医療を取り巻く動向、諸制度の理解について医療保険制度や診療報酬制度の理解を行う。加えて、「病い」と共に生きるクライアントの特性理解を踏まえた、医療専門職と社会福祉士の役割を理解する。また、講義展開にあたっては、適時模擬事例を用いて、ソーシャルワーカーとしての判断や行動について検討する。

【学修目標】

1. 保健医療分野のクライアント特性とソーシャルワーク支援のあり方が説明できる。
2. ソーシャルワーク実践において必要となる保健医療の動向を説明できる。
3. 保健医療に係る政策、制度、サービスについて説明できる。
4. 保健医療サービスにおける専門職の役割と実際を説明できる。
5. 地域包括ケアにおける多機関・多職種による連携・協働を説明できる。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 1 | オリエンテーション 保健医療の課題を持つ人の理解 | <ul style="list-style-type: none"> ・講義展開を説明できる。 ・健康の定義(WHO)を説明できる。 ・人生における生活者にとっての病いの意味について説明できる。 ・病を持つことによって生じる患者と家族にとっての生活への影響を説明できる。 ・Bio-Pscho-Socialモデルについて説明できる。 | 巻 |
| 2 | 医療ソーシャルワークの歴史と概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・医療ソーシャルワークの歴史と動向を説明できる。 ・医療ソーシャルワーカーの役割が説明できる。 | 巻 |
| 3 | 保健医療に係る倫理と倫理的課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・医療倫理の4原則を説明できる。 ・保健医療に係る倫理的課題の検討ができる。 ・患者の権利について概説できる。 | 巻 |
| 4 | 意思決定と意思決定支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・医師 患者関係について説明できる。 ・保健医療の場における自己決定権の尊重の意義について説明できる。 ・意思決定に係る関係概念が説明できる。(インフォームト ` ` コンセント、インフォームト ` ` アセント、アト `ハ `ンスケアフ `ランニク `) | 巻 |
| 5 | 保健医療の動向 | <ul style="list-style-type: none"> ・疾病構造の変化(感染症の減少、生活習慣病の増加など)について説明できる。 ・地域完結型医療について説明できる。 ・保健医療対策(医療計画、5疾病5事業)の概要について説明できる。 | 巻 |
| 6 | 医療施設の概要と在宅医療 | <ul style="list-style-type: none"> ・病院(特定機能病院、地域医療支援病院等)、診療所、保健所の役割を説明できる。 ・病床の機能分化について説明できる。 ・在宅医療の役割と課題を例示できる。 | 巻 |
| 7 | ソーシャルワークと経済的保障 (1) 医療保険・診療報酬制度 | <ul style="list-style-type: none"> ・医療費の自己負担や保険料の減免制度について説明できる。 ・診療報酬制度の体系が説明できる。 | 巻 |
| 8 | ソーシャルワークと経済的保障 (2) 医療保険制度の活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・治療拒否事例が抱える経済的課題を指摘できる。 ・模擬事例を用いて、高額療養費制度・傷病手当金の活用可能性を説明できる。 | 巻 |
| 9 | 保健医療分野における社会福祉士の役割 | <ul style="list-style-type: none"> ・医療ソーシャルワーカーの業務指針(業務の範囲・方法)を説明できる。 | 巻 |
| 10 | 身寄りがいなくて何が悪い～医療ソーシャルワーカーの実践～ | <ul style="list-style-type: none"> ・保健医療領域における支援の実際が説明できる。 ・身寄りがない患者が抱える課題を例示できる。 | 不動宏平(特別講師) 巻 |

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|----|-----------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| | | ・身元保証のない患者との医療ソーシャルワーカーの実践の実際を知る。 | |
| 11 | 医療ソーシャルワーカー倫理綱領 | ・医療ソーシャルワーカーの倫理綱領の概要について説明できる。 ・保健医療における福祉的課題をもとに倫理的な行動について検討できる。 | 巻 |
| 12 | 医療機関におけるソーシャルワーカーが所属する部門の構築 | ・マトリクス組織について説明できる。 ・業務管理と業務評価の概要が説明できる。 ・ソーシャルワーカーの病院内での実践構造について説明できる。 | 巻 |
| 13 | 保健医療分野における専門職と連携(チームアプローチ) | ・医療関連専門職の役割について説明できる。 (医師、歯科医師、保健師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、介護福祉士、精神保健福祉士・介護支援専門員、居宅介護従事者など) ・院内連携の構造と方法について説明できる。 ・多職種チームモデルについて説明できる。 | 巻 |
| 14 | 医療資源が少なくても暮らせる地域を創る～医療ソーシャルワーカーによる地域介入～ | ・地域で保健医療を要する人の生活課題を例示できる。 ・医療・介護連携支援センターの機能と実践が例示できる。 ・地域医療連携・協働の体制構築に向けた医療ソーシャルワークの地域活動の実際が説明できる。 | 関 建久(特別講師) 巻 |
| 15 | 地域包括ケアにおける医療ソーシャルワーカーの役割 | ・地域医療連携(病診連携、病病連携)の概要と方法について説明できる。 ・地域包括ケアシステムにおける多機関連携の概要について説明できる。 ・全体のまとめ | 巻 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験(80%)、提出物(20%)等を総合的に評価する。

【教科書】

(編)社会福祉士養成講座編集委員会(2021)『保健医療と福祉』中央法規。

【参考書】

日本医療ソーシャルワーク研究会編(2023)「2023年度医療福祉総合ガイドブック」医学書院。
児島美都子 監 成清美治・竹中麻由美・大野まどか 編(2020)『保健医療と福祉』学文社
宇田川元一(2019)『他者と働く～「わかりあえなさ」から始める組織論』NewsPicksパブリッシング。
エイミー・C・エドモンドソン(2014)『チームが機能するとはどういうことか』英治出版

【備考】

この科目は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「保健医療と福祉」に該当する。
また、教職課程(福祉)では、教科に関する科目の「社会福祉援助技術」に該当する。

【学修の準備】

1. 講義についてふれる知識や情報についての復習を行うこと。
2. 変化する医療情勢の最新動向について新聞報道等により継続的に注意し講義に臨むこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2、4

【講義の受講にあたって】

1. 講義毎にリアクションペーパー(理解したこと、疑問、自ら考えたこと等)の記載を求める。
2. 受講にあたっては、「自ら感じ、考える」ことを意識し、その内容をリアクションペーパーに記載すること。

3．リアクションペーパー記載内容に対し、次回の講義で必要に応じ解説する。

【実務経験】

社会福祉士、認定社会福祉士（医療分野）、認定医療社会福祉士、介護支援専門員

【実務経験を活かした教育内容】

病院・相談機関での医療ソーシャルワーカー(社会福祉士等)としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。